

令和6年度 事業報告

社会福祉法人 杉の木会
杉の木園（生活介護）

1. 事業概要

令和6年度は、利用契約者数20名でスタートをしたが、5月に1名、9月に1名の利用者が施設入所へ移行となり退所をした。2月に1名の利用者が他の事業所を利用することになり退所をした。

新たな契約の獲得に繋がるよう支援学校からの見学や実習を積極的に受け入れたが、次年度への契約の獲得には繋がらなかった。しかし、進路先のひとつとして考えられて、継続的に実習へ来ている生徒がおり、引き続き、見学や実習の受け入れを積極的に行っていきたい。

コロナ禍により制限をしていた施設内での行事や外出支援、施設外の行事への計画や参加などについて、その時々状況を踏まえた上で計画や実施、参加をしていった。また、高速道路を利用してドライブに出かけるなど、利用者の気分転換を図った施設外活動も行った。

職員の研修への参加や受講（WEB やオンライン研修を含む）を積極的に行い、施設職員としての意識や資質の向上に努めた。

10月に利用者1名が活動中に転倒をして骨折をするという事故が1件発生した。再発防止のため、職員間での会議を重ね、なぜ事故が発生したのか、事故防止についてなど話し合い、事故の発生防止に全力で努めた。

新型コロナウイルスを含めた感染症対策について、施設内の消毒や換気、利用者や職員には検温、手指の消毒、マスクの着用をすすめる等の感染防止対策を徹底したが、9月に利用者や職員が新型コロナウイルスへ感染することがあり、あらためて感染症対策を見直し、徹底するよう講じた。

2. 職員配置

職 種	管理者	事務員	サビ管	支援員	看護師	合 計
職員数 (人)	1	1	1	6	1	10
備 考				男性3 女性3	非常勤	

(令和7年3月末日現在)

3. 事業内容

(1) 個別支援計画書の作成と実施

個別支援計画書を作成 利用者・家族の同意後、計画書に基づき 支援を実施。	年2回作成 実施期間 : 4月～9月 10月～3月
--	---------------------------------

(2) 利用者支援

利用者の状況 (定員：20名 契約者数：17名)

年齢	18～24	25～34	35～44	45～54	合計	平均年齢
男性	1名	1名	4名	2名	8名	38.0歳
女性	2名	1名	1名	5名	9名	38.0歳
合計	3名	2名	5名	7名	17名	38.0歳

(令和7年3月末日現在)

利用者障がい支援区分

	区分3	区分4	区分5	区分6	合計
男性	1名	3名	2名	2名	8名
女性	0名	1名	4名	4名	9名
合計	1名	4名	6名	6名	17名

(令和7年3月末日現在)

利用状況

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年計
開所日数	22	22	20	23	20	20	23	21	20	20	19	21	251
延べ利用者数	375	356	339	370	323	298	354	312	313	303	271	317	3931
1日平均利用者数	17.1	16.2	17.0	16.1	16.2	14.9	15.4	14.9	15.7	15.2	14.3	15.1	15.7

(小数点第2位以下切り上げ)

① 日常生活の支援

介護の提供

介護の種類	内容
食事	利用者個々の健康状態や体型、年齢等により、適切な栄養量の食事を提供 利用者個々の障がいの特性や食べやすさ等を考慮し、適切な内容の食事を提供 食事の提供 16名 (お弁当持参 1名) 極刻み食 2名 おかず一口大カット 7名 等々
更衣	着替えの介助、身だしなみ等
排泄	トイレ誘導、排泄の介助、排泄後の処理等
移動	移動の介助、移動中の安全配慮等
コミュニケーション	利用者個々の特性に配慮した支援等
対人関係	日常生活において円滑な人間関係を築く為の支援等
自立へ向けた支援	日常生活における困難性への対応、社会生活への適応に関わる支援等

日中活動の支援

種 類	内 容	頻 度 等
創作的活動	図工 音楽	月 7 回
	習字	年 4 回
	クッキング	0 回
	音楽療法 (外部講師)	月 1 回
レクリエーション 的活動	DVD鑑賞	週 1 回
	カラオケ	月 1 回
	風船バレー 卓球バレー ボウリング	月 3 回
	フライングディスク	月 1 回
	水浴び (プール)	0 回
	朗読ボランティア	月 1 回
自主活動	※内容は利用者が決める	月 1 回
身体能力の 維持・向上 のための活動	散歩 (室内ウォーキング)	週 2 回
	運動 体操など	月 6 回
	リラクゼーション	月 3 回
	リズム体操 (外部講師)	月 1 回
作業訓練活動	箱折り作業	週 2 回
	空き缶つぶし	月 1 回
生産活動 (工賃支払)	公園清掃作業 (大分市より委託) ゴミ収集・トイレ清掃など 除草作業	(3名従事) 隔週 2 回 5・7・9・10 月
	リサイクル実習 (大分市障害者就労支援協議会)	(2名従事) 週 2 回
施設外活動	ドライブ	週 1 回
	外出支援	年 7 回

② 健康維持管理

項目	内容	頻度等
室温・湿度管理	エアコン、扇風機の使用により、適した室温になるよう配慮 加湿器を設置し、適した湿度になるよう配慮	季節に応じ 随時
検 温	登園後、降園前に体温を測定	毎 日
服薬管理	体調不良時の服薬の介助 体調不良時に保護者からの服薬依頼等	随 時
訪問診療	嘱託医が来園し、利用者の健康相談や必要な指導・助言等を行う。	毎 月
健康診断	内診・血液検査・レントゲン検査・血圧測定 (博愛病院にて)	9 月
	内診・血液検査・血圧測定 (杉の木園にて)	3 月
感染症予防対策	注意喚起の文書を配布 消毒・手洗いの慣行など 空気清浄機、加湿器 空気殺菌機、車用空気殺菌機を使用 手すり、ドアノブ等の消毒	随 時
緊急時対応	利用者の体調不良時に保護者へ連絡	随 時
	緊急時対応マニュアルの周知徹底	年 2 回
相談・助言	利用者の健康について、気になることがあった際は、看護師に相談等をして対応をした。病院での受診が必要と思われる場合は、看護師が家族へ説明を行った。	随 時

③ 心身の状況等の把握

利用者の心身の状況、各種サービスの利用状況、通院及び服薬の状況などの把握に努めた。

(3) 家族とのつながり

項目	内容	頻度等
相談対応	必要に応じ、家族へ報告や相談を行った。 家族からの相談には真摯な態度で対応を行った。(来園・電話・訪問等)	随時
面談	面談を行い、家族からの意見・要望等を傾聴した。 相談支援に関する会議で家族が来園した際等に、家庭での様子や施設での状態等についての話をした。	年1回 年1回以上
相談支援に関すること	担当者会議やモニタリングへの出席、及び内容の説明や相談・助言などを行った。	随時
行事の開催	夕涼み会 8月17日に開催をした。(家族12名参加)	

(4) 他機関との連携

項目	内容	頻度等
他の福祉サービス事業所	連絡調整、情報交換等	随時
行政機関	連絡調整、相談等 各種手続き、申請等	随時
医療機関	相談、情報交換、受診の付き添い等	随時
相談支援事業所	連絡調整、情報交換、相談等	随時
	サービス等利用計画作成のための アセスメント、担当者会議、モニタリング等	随時
特別支援学校	実習に関する連絡調整等 卒業後の進路に関する会議、連絡調整等	随時
高等学校福祉科	実習に関する連絡調整等	随時
大学	実習に関する連絡調整等	随時

(5) 人権の擁護と虐待の防止

項目	内容	頻度等
職員行動規範	職員に対し、職員行動規範の徹底を行った。 施設内で人権に関する研修を行った。	年2回 年1回
苦情解決	相談や苦情等、相談窓口にて対応 「ご意見承り箱」を設置	苦情等はなし
	福祉サービス相談委員会	年2回
虐待防止	虐待防止に関する相談等は相談窓口にて対応	相談等はなし
	虐待防止委員会を開催し、虐待の予防・早期発見・早期対応、さらに再発防止・啓発活動に努めた。	年2回
	施設内外研修(虐待防止)	年2回
身体拘束適正化	身体拘束適正化委員会を開催 早期発見・早期対応 さらに再発防止・啓発活動に努めた。	年2回
	施設内外研修(身体拘束適正化)	年2回

(6) リスクマネジメント

項目	内容	頻度等
施設内研修	研修を行い、職員に周知、徹底を図った。	年2回
ヒヤリハット報告書	利用者の転倒等 報告書を作成、回覧し、内容の周知を行った。 業務報告時等に対応策の検討を行った。	13件
事故報告書	活動中の転倒(1件) 物損(1件)	2件

(7) 職員の資質向上・福利厚生

項目	内容	頻度等
職員会議	利用者・行事・施設運営等に関する事	月1回
支援会議	利用者支援についての検討会 支援計画作成会議	年13回
施設内研修	業務改善 研修報告 事例検討など	年4回
施設外研修	県や経営協等が主催する研修会へ参加	8回
業務報告	情報交換、特記事項の報告、それに関する対応策の検討、確認事項等を行った。	毎日
健康管理	一般健診の受診	年1回
ハラスメント対策	福祉サービス相談委員会にてハラスメント対策検討	年2回
	施設内外研修	年2回

(8) 地域交流

項 目	頻度等
新生支援学校からの実習生の受け入れ	2名
大分南高校からの実習の受け入れ	3名
大分東明高校からの実習の受け入れ	2名
別府大学短期大学部初等教育科からの実習の受け入れ	4名
義務教育教員免許志願者に対する介護等体験事業の受け入れ	6名
見学者等の受け入れ（障がい者とその家族、職場見学等）	延べ15名
ボランティアの受け入れ	2名

(9) 非常災害対策

項 目	頻度等
避難訓練の実施	年10回
総合消防訓練の実施（地震時の避難も含む）	年2回 6月・1月
消防用設備等の点検（業者に委託）	年1回 9月
消防用設備等の自主点検	月1回

(10) 宿泊支援（自立生活促進事業）

項 目	頻度等
地域社会での自立した生活の体験として行う。 家族の緊急時にも対応する。	0名

(11) 業務継続計画（BCP）

項 目	頻度等
甚大な災害発生を想定した訓練 非常食試食会	2回/年
災害時初動訓練 感染症のアップデート研修 BCP訓練等	2回/年

(12) 障害者等緊急時支援

大分市障がい者相談支援センターと連携して、利用者及び大分市在住のその他の障害者が保護者等からの介護が受けられなくなった時（利用者の生死にかかわる事案に限る）に緊急の支援（宿泊含む）を要請に応じて行うものであるが、今年度は職員2名（サービス管理者クラス）が待機をした。

令和6年度事業報告

令和7年3月31日
社会福祉法人 杉の木会
第二杉の木園（生活介護）

1. 事業概要

令和6年度の報酬改定に伴い、意思決定支援の充実が図られ、原則、生活介護支援計画書の作成時に、利用者出席のもと支援会議を行うことが決められた。本人の思いが反映されない支援計画書は、計画書として認めない方針が発表された。

これを受け、本人への聞き取りを、言語だけでなく、写真や動画、簡単な文字列といったコミュニケーションツールを駆使して、聞き取りを行なった。最重度の方の場合、写真や動画に反応があっても、何を思っているか真意はわからない方もいたが、個人の環境や家族からの意見を総合的に判断して推察を行った。

利用者定員20名のところ、18名で今年度を迎えたが、2月に法人内での移動があり、19名となった。将来を見据えた、他法人のショートステイの利用が増加した。

職員1名が11月に退職し、11月に1名入職した。3月末に長期間マイクロバスの運転をされていた方が退職された。

2. 職員配置・採用状況（令和7年3月31日現在）

職種	管理者	事務員	サビ管	生活支援員	看護職員	運転手	調理員	計
人数	1	1	1	7 男性3 女性4 (非常勤)1	(非常勤) 1	1	外部委託	12

3. 事業内容

利用者の状況 定員20名 利用者数19名（令和7年3月31日現在）

年齢と性別

年齢	18~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	計	平均
男	0	3	6	3	3	15	39.1
女	0	1	1	0	2	4	40.8
計	0	25	34.7	47.3	52.8	19	39.4

支援程度区分

区分	区分3	区分4	区分5	区分6	計	平均
男	0	1	5	9	15	5.5
女	0	0	0	4	4	6
計	0	1	5	13	19	5.6

利用状況 (退所者含む)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
開所日数	22	22	20	23	22	20	23	21	20	20	20	20	254
総利用者数	360	366	323	359	324	342	385	335	340	326	325	356	4141
平均利用数	16.4	16.6	16.2	15.6	14.7	17.1	16.7	16	17	16.3	16.3	17	16.3

(1) 個別支援計画書の作成と実施

利用者のニーズや適性に応じた支援内容の見直しを行い、支援者と保護者一体で支援できるよう配慮した。

年2回 6ヶ月毎 ※下記3月は新規契約者のもの

- ・ 支援会議 8月(18回) 2月(19回) (延べ37回)
- ・ 面談 9月(18回) 3月(19回) (延べ37回)

(2) 利用者支援

① 日常生活の支援

各場面において、利用者のニーズや適性に応じた支援を行った。

《介護の提供》

- ・ 食事・更衣・排泄・移動・コミュニケーション・自立支援・側面的支援・対人関係

② 日中活動支援

利用者の意向や好みに応じて、自ら選択できるよう様々な活動場面を用意し、繰り返し継続して行うことで、自己選択の幅が広がった。

《創作的活動》

項目	内容	年間
制作活動	絵画 貼り絵 書道 工作 紙すき 裁縫 等	62回
レクリエーション	カラオケ DVD 観賞 ゲーム 紙芝居 等	42回
運動	室内ウォーキング 踏み台昇降 体操 散歩 等	135回
	リズム体操 (外部講師)	12回
音楽	音楽療法 (支援員による) 楽器演奏 音楽鑑賞	28回
	音楽療法 (外部講師)	12回
施設外活動	ドライブ 等	59回
	外出支援 (観光 外食 買い物 等)	7回
その他	調理	7回
	動作法 (外部講師を含めた対応)	19回

《生産的活動》

項目	内容	年間
作業訓練	箱折り作業	91回
	空き缶つぶし作業	0回
	施設内清掃作業	7回
	農作業 (季節に応じて)	0回

《生産活動》

項目	内容	年間
公園清掃	大分市より委託 ゴミ回収 トイレ清掃 除草	45回
リサイクル実習	大分市障害者就労支援協議会より委託 缶・ビン・ペットボトルの分別作業（実習生1名）	98回
ラッシングベルト実習	大分市障害者就労支援協議会より委託 クリーンサービスでのラッシングベルト分別作業 （実習生1名）	7回

③健康維持管理

毎月、医師の診断を受け、利用者の健康状態の把握に努めた。訪問診療時に、健康診断を兼ねることで、病院での待機時間や利用者の負担を減らすことが出来た。合わせて、毎月体重をはかり、利用者の健康管理に役立てた。

項目	内容	年間
衣服の調節	季節に応じた服装・暑さ寒さに配慮した支援	随時
昼食	本人の嗜好・こだわり・嚥下状態に合わせた支援	随時
	嗜好調査	1回
服薬管理	昼食時の服薬・点眼等の管理	随時
インフルエンザ 等感染系対策	消毒・手洗い慣行 施設内感染対策委員会の設置 インフルエンザ予防接種（希望者12人）	随時 1回
検温	当日の健康状態の把握	毎朝1回
体重測定	健康管理 肥満予防	12回
健康診断	健康状態の把握	2回
訪問診療	日常生活の健康管理、療養上の指導	10回
緊急時対応	保護者への連絡、病院への搬送・同行 等 緊急時対応マニュアルの周知徹底	随時
すこやか通信	22号～23号発行した。季節柄に合わせて発行	

④心身の状況等の把握

利用者の心身の状況、その置かれている環境、他の福祉サービスや保健医療サービスの利用状況等の把握に努めた。また、家族と密接な連携をとり、情報を共有した。

(3) 家族とのつながり

相談を受けたときは、真摯に受け止め、職員全員で問題に向き合い、可能な限り意向に沿うよう努力した。難しい事案については、保護者との話し合いの中から妥協点を探し安心できるよう心がけた。

項目	内容	年間
相談支援	利用者の家族に対し、福祉サービスに関わる相談 や助言を行った。	284回
面談	利用者、保護者のニーズを個別支援計画につなげ た	1人2回

行事の開催	夏祭り会（夕涼み交流会）…8月20日 クリスマス会…12月13日 餅つき…12月23日 ※保護者参加は少数に限定	3回
-------	--	----

(4) 他機関との連携

行政・医療・相談支援事業所・特別支援学校等の実習受け入れの連絡調整を行った。サービス等利用計画作成時、相談支援事業所と連絡調整・面談時同席した。家庭の事情に寄り添って他事業所と連携をとり、日中一時や短期入所の福祉サービスが使えるように計らい、可能な限り送迎を行った。

(18名×2回) + (19名×2回) 延べ74回

(5) 人権擁護と虐待の防止

常に、利用者それぞれ人権を尊重し安心して生活できるよう支援者の意識を統一した。

項目	内容	年間
職員行動規範	利用者の権利擁護、職員行動規範について見直し	1回
	施設内人権研修	3回
	施設外人権研修	4回
苦情解決	意見・要望に対し、初期対応を迅速に行い、真摯に対応した。苦情等は無かった。	苦情0件 その他0件
	福祉サービス相談委員会の開催	2回
リスクマネジメントの推進	ヒヤリハット報告書 34件 事故報告書 4件 ・人身 1件 ・物損 1件 ・その他 2件	
	施設内研修（報告書の見直し・検討）	1回
虐待防止	虐待防止委員会を開催し、虐待の予防・早期発見・早期対応、さらに再発防止・啓発活動に努めた	2回
	施設内研修（虐待防止）	2回
身体拘束適正化	身体拘束適正化委員会を開催し、早期発見・早期対応、さらに再発防止・啓発活動に努めた	2回
	施設内外研修（身体拘束適正化）	2回

(6) 職員の資質向上・福利厚生

利用者やその家族との信頼関係を維持向上させ、利用者が豊かで充実した人生を自己実現できるよう支援し、社会福祉施設としての目的を達成するために、全職員で研修を行い、資質の向上に努めた。

項目	内容	年間
職員会議	翌月の行事計画等の打ち合わせ、確認等	12回
支援会議	利用者支援についての検討会 支援計画作成会議	37回
施設内研修	業務改善 人権研修 事例検討など	5回

施設外研修	県や経営協等主催の研修会への参加	13回
申し送り	当日・翌日の業務連絡・確認	朝夕1回
健康管理	看護師による職員の健康相談	随時
	健康診断	2回
ハラスメント 対策	福祉サービス相談委員会にてハラスメント対策検討	2回
	施設内外研修	1回

(7) 地域交流

利用者が社会と関わり、何らかの刺激を授与することで、双方の理解を深めることを目的に、地域と関わる行事を行う予定だったが、感染症が増加傾向の時期でもあり中止した。

項目	内容	日 or 人数
夕涼み交流会	「夏祭り会」として行った。感染予防の為地域の人 は不参加。	
餅つき	地域の人参加せず、利用者と職員、保護者1名に 協力を要請して行った。	
戸次文化祭	大南公民館で行われる文化祭への利用者作品出品 文化祭の主旨が変更となった為、再展示は困難	不参加
実習受け入れ	各支援学校の実習生受け入れ 延べ(32日)	2人
	大分南高校福祉科の1年生実習受け入れ	2人
	大分芸術短期大学からのインターシップ受け入れ	0人
	介護体験実習での学生受け入れ	0人
『やわらぎ』	通信『やわらぎ』94～96号発行 計3号	

(8) 非常災害対策

利用者が被災時に落ち着いて避難行動ができるよう、継続して訓練を行なった。

項目	内容	年間
避難訓練	火事・地震・水害を想定しての避難・誘導訓練	12回
総合消防訓練	総合訓練(通報・消火・避難訓練)	1回
消防用設備点検	定期点検(業者委託)	1回
	自主点検	12回
	消防署立ち入り検査(感染症対応の為、電話にて 指示を受けた)	電話対応

(9) 宿泊支援：ライフサポート(自立生活促進事業)

家庭的社会的自立の一環としての宿泊支援を準備したが、利用は無かった。
大分市の独自事業であったが、3月31日をもって事業終了した。

(10) 感染症発生時・災害発生時における業務継続計画(BCP)

事業内容の(2)利用者支援③健康維持管理、感染予防と(8)非常災害対策 にか
かる事象が発生した場合には、利用者と職員の安全と生命を守り、その上で継続した支
援を行う必要がある。そのため管理者不在時でも職員が率先して動けるよう、BCPに
沿った行動を習慣化するための訓練を職員および利用者も対象にして行った。職員は

定期的に研修等を行った。

内 容	年間
甚大な災害発生を想定した訓練。非常食試食会。	2回
災害時初動訓練。感染症のアップデート研修。BCP 訓練等。	2回

(11) 障害者等緊急時支援

大分市障害者相談支援センターと連携して、利用者及び大分市在住のその他の障害者が保護者等からの介護が受けられなくなった時（利用者の生死にかかわる事案に限る）に緊急の支援（宿泊含む）を要請に応じて行うものであるが、今年度は職員2名（サービス管理者クラス）が年2回それぞれ1週間の待機があった。

令和6年度 事業報告

社会福祉法人 杉の木会 ケアホームすぎのき
 共同生活援助事業 (介護サービス包括型)
 短期入所事業 (空床利用型)

1. 事業概要

令和6年度事業計画の基本方針及び重点事項に基づき、利用者支援を行なった。
 新型コロナウイルス感染症の流行は減少してきたが、他の感染症の流行もあり、引き続き、手洗い、手指の消毒、換気の徹底、空気清浄機等の活用、利用者の体調管理を、十分に配慮して行った。

2. 職員配置

職 種	管理者	事務員	サビ管	世話人	生活支援員
人 数	1	1	1	2	17
備 考	兼務	兼務	兼務	専従 2	兼務 13 専従 (宿直) 3 専従 (日直) 1

[令和7年3月末日現在]

3. 事業内容

利用者の状況及び利用状況

共同生活援助事業 [定員6名] 入居者 3名 (男性)
 短期入所事業 (空床利用型) 利用契約者 3名 (男性)

[令和7年3月末日現在]

利用者障がい支援区分

	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	合 計
共同生活援助 利用契約者		1名	1名	1名		3名
短期入所事業 利用契約者			1名	1名	1名	3名

[令和7年3月末日現在]

日中利用施設

	杉の木園	第二杉の木園	やまびこ広場 (幸福会)	合 計
共同生活援助 入居者	2名		1名	3名
短期入所事業 利用契約者	1名	2名		3名

[令和7年3月末日現在]

利用状況 【共同生活援助事業】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
開所日数	30	31	30	31	31	24	25	26	25	23	27	25	328
延べ 利用者数	109	110	104	114	105	66	64	47	67	68	76	70	951
1日平均 利用者数	3.63	3.54	3.46	3.67	3.38	2.75	2.56	1.80	2.68	2.95	2.81	2.8	2.89

(小数点第2位以下切り上げ)

利用状況 【短期入所事業】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
利用日数	8	10	8	11	10	8	12	10	8	0	0	0	85

① 利用者支援

種 類	内容等
個別支援計画書の作成と実施	年2回 6か月毎 (共同生活援助事業)
利用者の状況に応じた 支援・介護の提供	相談及び援助
	食 事
	更 衣
	排 泄
	移 動
	コミュニケーション
	対人関係
自立へ向けた支援	
買い物支援	水、土、日曜日及び祝日
買い物代行	利用者個々の消耗品等の代理購入 歯ブラシ歯磨き粉、電池、水、その他諸々
食事の提供	栄養のバランス、身体や健康の状況、希望や嗜好を考慮して提供した。 健康診断の結果に看護師が注意事項を記入したものを世話人へ渡し、それを考慮した食事を提供した。行事の際は、行事食を提供した。

健康維持管理	衣服の調節
	室温・湿度管理 利用者の居室のエアコンは、基本、職員が管理。
	検温（毎朝） 症状記録シートの記入
	服薬管理 3名 服薬介助 1名 その他、風邪薬等、必要に応じて随時 塗布薬介助 1名 その他、痒み止め等、必要に応じて随時
	感染症予防対策 換気の徹底 消毒液の使用等 空気清浄機 3台、加湿空気清浄機 2台、 加湿器 4台、紫外線洗浄機 1台を使用
	緊急時対応 夜間、土日祝日に、病院受診などの対応はなし。 保護者との連絡、杉の木園及び幸福会との連絡を密にする事で、健康状態の把握に努めた。 体調不良の際は保護者に連絡したり、看護師に相談したりするなどして対応した。
体験利用の受け入れ (空き部屋を利用)	利用なし。
短期入所事業 (空床利用型)	利用者に対して利便性の向上を図り、地域での自立した生活に繋がるよう支援を行った。

② 家族とのつながり

項目	内容	頻度等
相談対応	家族からの相談には真摯な態度で対応した。	杉の木園での保護者面談時 保護者の杉の木園来園時 電話での対応
面談	家族からの意見・要望を傾聴した。 個別支援計画書作成に関する話をした。	年1回 その他 杉の木園での保護者面談時、 保護者が杉の木園来園時、 帰宅送迎時、電話での対応等
相談支援に関すること	相談支援に関する会議への出席、及び内容の説明や相談・助言など。	年1回 担当者会議 モニタリング

③ 他機関との連携

項目	内容	頻度等
他の福祉サービス事業所	連絡調整、情報交換等	随時 同法人の日中の事業所との連絡、相談等。 幸福会との連絡、相談等。 連絡等あった際は、サビ管が「連絡事項」を作成し、世話人、宿直職員、日直職員、日中の事業所の職員へ周知し、情報の共有に努めた。
行政機関	連絡調整、相談等	随時 各種手続きや申請等
医療機関	相談、情報交換、受診の付き添い、介助等	精神科通院介助 定期通院 2ヵ月1回 (1名) 内科通院介助 定期通院 2ヵ月1回 (1名) 泌尿器科通院介助 定期通院 2ヵ月1回 (1名)
相談支援事業所	連絡調整、情報交換、相談等	随時 会議の日程調整 生活の様子の説明等

④ 人権擁護と虐待の防止

項目	内容	頻度等
職員行動規範	職員に対し、職員行動規範の徹底を図った。	年2回 同法人の日中の事業所での職員会議にて行った。
	施設内で人権に関する研修を行った。	年2回 同法人の日中の事業所での職員会議にて行った。
苦情解決	相談や苦情等、相談窓口での対応。	苦情等は無し。
	福祉サービス運営委員会	年2回
虐待防止	虐待防止に関する相談等は、相談窓口にて対応。	相談等は無し。
	虐待防止委員会を開催し、虐待の予防、早期発見、早期対応、再発防止、啓発活動に努めた。	年2回 会議録を全職員に回覧。

	虐待防止に関する研修を行なった。	虐待防止に関する研修受講の研修報告を全職員に回覧。 権利擁護・虐待防止とリスクマネジメントについての施設内研修を日中の事業所で行い、専従職員には研修記録を回覧。
身体拘束 適正化	身体拘束等適正化委員会を開催し、早期発見、早期対応、再発防止、啓発活動に努めた。 身体拘束適正化に関する研修を行なった。	年2回 身体拘束についての施設内研修を日中の事業所で行い、専従職員には研修記録を回覧。

⑤ リスクマネジメント

項目	内容	頻度等
ヒヤリハット 報告書	内容の周知、検討、対策	ヒヤリハット報告書の提出は無し。 特記事項がある場合は「特記事項記録表」に記録。 周知すべきものがあれば、サビ管が連絡事項に記載して周知した。
事故報告書	内容の周知、検討、対策	事故報告書の提出は無し。

⑥ 職員の資質向上

項目	内容	頻度等
職員会議	利用者・支援・行事・施設運営等に関する事など。	杉の木会合同職員会議 令和7年2月25日
施設外研修	県や経営協などが主催する研修会への参加。	コンプライアンス講習会にサービス管理責任者が参加。 令和6年11月18日
ハラスメント 対策	福祉サービス相談委員会にてハラスメント対策検討 施設内研修	年2回 8月、カスハラ研修受講の研修報告を全職員に回覧。

⑦ 非常災害対策

項 目	頻度等
避難訓練の実施	7月26日、12月24日
消防用設備の点検	新日本消防設備に委託 6月、12月に実施。(年2回)
消防用設備の自主点検	年1回

⑧ 業務継続計画 (BCP)

感染予防対策、非常災害対策にかかる事象が発生した場合に、利用者と職員の安全と生命を守り、継続した支援を行う為、管理者不在時でも職員が率先して動けるよう、利用者・職員に習慣化できるよう訓練を行ない、職員は定期的に研修等を行う。

項 目	頻度等
甚大な災害発生時を想定した訓練。 非常食試食会。	杉の木会災害時適応訓練 令和7年2月24日
災害時初動訓練。 感染症のアップデート研修。 BCP訓練等。	4月、法人の感染防止委員会の内容を全職員に回覧。 7月、感染症対策強化研修受講の研修報告を全職員に回覧。 9月、感染症対策委員会の内容を全職員に回覧。

⑨ 主な行事

実 施 日	行 事	備 考
7月26日	夕涼み会	利用者4名、職員2名、世話人1名、計7名が参加。 食事会やゲーム、花火などを行った。
12月24日	クリスマス会	利用者3名、職員2名、世話人1名、計6名が参加。 食事会やゲームなどを行った。
そ の 他	お誕生日会	各利用者の誕生日月に行った。 (4・5・12月)